

三好市役所本庁舎等の設計者が決定しました

設計者選定プロポーザルで 「久米・スバル設計共同体」を選定

有識者5人で組織される「三好市役所本庁舎等設計者選定委員会（委員長・北後明彦神戸大学教授）」は9月19日、施設の設計業務受託候補者（特定者）として、久米・スバル設計共同体（代表企業・株式会社久米設計大阪支社、構成員として三好市の株式会社スバル設計）を選定しました。次点には大建・山田設計共同体（代表企業・株式会社大建設計大阪事務所、構成員として三好市の株式会社山田設計）が選ばれています。

で堅実な配置・構造計画となっており、建設に要するコストアップについての懸念が少ない点が大きく評価されました。また、地元産材を多目的ホールの内装材に利用する提案を明示した点と地元設計者との設計共同体による連携体制についても評価されました。

両者の提案は、アプローチは異なるもののそれぞれ優れた内容を持ったものでありましたが、最終的には、コスト面からの懸念が「大建・山田設計共同体」の提案にあるとの評価により、「久米・スバル設計共同体」を特定者（第一候補者）に、「大建・山田設計共同体」を次点者（第二候補者）とするとの結論に至りました。



※庁舎の設計・デザインなどのイメージは、設計者選定プロポーザルの技術提案に際し作成されたものであって、これらのイメージどおりの建物となる訳ではありません。また、これらのイメージは設計者の著作物ですので、無断利用はご遠慮ください。



多目的ホールイメージ

■ 委託業務の概要

【業務内容】

新本庁舎の新築および現本庁舎の改修に係る基本・実施設計

【業務委託料】

1億5440万円（消費税含む）

【予定履行期間】

新本庁舎基本設計

平成29年10月～平成30年3月

新本庁舎実施設計

平成30年4月～平成30年11月

現本庁舎実施設計

平成30年12月～平成31年5月

【計画施設の概要】

・新本庁舎：想定延床面積約6500㎡（現本庁舎に隣接し、多目的ホールを合築）

・現本庁舎：想定延床面積3000㎡未満（耐震化および内外装等改修）

■ 市議会臨時会議で委託契約を承認

10月10日、三好市議会第2回臨時会議が開催され、特定者である「久米・スバル設計共同体」と締結する本庁舎等設計業務の委託契約が承認されました。今後、本委託業務は、まず新本庁舎の基本設計を本年度末までに、引き続き新庁舎の実設計を来年秋頃までに、さらにその後旧本庁舎の実設計を行う予定です。

本業務の進捗状況については、市報や三好市webサイトを通じて市民の皆さまにお知らせさせていただきます。

なお、新本庁舎の建設は、早ければ来年冬頃に着工、2年程度の工期を想定しています。一方、現本庁舎の改修工事は、新本庁舎の竣工後に取りかかる予定で、平成33年度末までの供用を目指すこととしています。

お問い合わせ先

三好市役所管財課
電話 72・7635